

今週（10月15日から10月18日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、積み期間が切り替わる週となったが、ビッドサイドの資金調達ニーズの強い状況に変わりはなく、相場に大きな変化は見られなかった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、15日(火)から17日(木)まで0.227%で推移し、18日(金)も概ね横ばい圏での取引となった。

ターム物に関しては、1W~4Mまでの幅広い期間で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により547兆円台で落ち着いて推移した。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、0.225~0.25%のレンジでの取引となった。週を通してオファーが厚く、レートは概ね横ばい圏での推移となった。

SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン概ね横ばい圏での推移となった。

17日(木)に実施された1Y物入札は、水準調整され事前予想通り前回比でやや上昇する結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。18日(金)に実施された3M物入札は、引き続き強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、閑散で特段の出合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、鉱業、小売業、卸売業、建設業など複数の業態で大型発行が実施された。

週間償還総額が2.4兆円程度に対し、発行総額は3.1兆円程度となったことから、市場残高は緩やかに増加し、24兆円前後での推移となった。

発行レートは、概ね0.25%以上で推移しており、引き続き銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/14 (月)						
10/15 (火)	39,910.55	0.970	149.62	0.227	0.240	5,476,100
10/16 (水)	39,180.30	0.950	149.25	0.227	0.239	5,470,600
10/17 (木)	38,911.19	0.960	149.55	0.227	0.235	5,474,500
10/18 (金)	38,981.75	0.965	150.03	0.227	0.239	5,477,100

来週（10月21日から10月25日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/21 (月)			
10/22 (火)		GX10Y 3,500億円 10/23発行	
10/23 (水)		交付税借入 13,000億円 11/5借入	9月の米中古住宅販売件数 米ページブック
10/24 (木)		20Y 10,000億円 10/25発行	9月の米新築一戸建て販売件数
10/25 (金)	10月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 8月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TB3M 43,000億円 10/28発行	9月の米耐久財新規受注

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/21 (月)	▲ 400	15,500	15,100	国債買入 CP買入 社債買入 国債補完		11,100	19,300	34,400	TB3M発行▲43,000 償還52,000 TB1Y発行▲32,000 償還34,400 エネルギー借入▲6,300 期日6,200
10/22 (火)	▲ 400	▲ 1,000	▲ 1,400				0	▲ 1,400	
10/23 (水)	▲ 500	▲ 3,500	▲ 4,000	社債買入		500	500	▲ 3,500	GX10Y発行▲3,500
10/24 (木)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	交付税借入 ▲13,000 期日13,000
10/25 (金)	▲ 500	▲ 9,000	▲ 9,500				0	▲ 9,500	20Y発行▲10,000
週間合計	▲ 2,300	1,000	▲ 1,300	—	8,200	11,600	19,800	18,500	

10/21は日銀予想、10/22以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢の資金ポジションに大きな変化がない限り、引き続き高めのレート圏で推移することが予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、0.20～0.26%のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、25日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、特段大きなイベントが無いなか、月末に向けて発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では25日(金)に10月の都区部消費者物価指数、海外では、23日(水)に9月の米中古住宅販売件数、米ページブック、24日(木)に9月の米新築一戸建て販売件数、25日(金)に9月の米耐久財新規受注などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。